



コミュニティ・スクール
長井市立致芳小学校だより
令和4年 7月15日 NO.7
校是「和致芳」

みんなが仲良く高め合って、たくましく輝く致芳校をつくろう
『 一人一人が自己の成長を実感し、笑顔になる学校へ 』

避難訓練 洪水発生！どうする？

7月8日に避難訓練を行いました。今回は、洪水発生に備えての訓練です。大雨や台風などにより洪水が起こり、自宅が土砂災害警戒区域になっている児童もあり、学校ではどう動くか、その後どうするのかを考えました。想定として、休み時間だが、まず教室に集まり、その後、迎



えをお願いして引き渡し、または学校に待機するというものでした。訓練では、放送を聞いて素早く教室に集合し、ランドセルに教科書などを入れ、帰る準備をしてホールに集合しました。ゆ

っくり帰る準備をしては間に合いません。遊びもすぐに中止です。スピード感をもって、真剣に集合することができました。



令和元年10月の台風19号では、山形県にも大きな被害がありました。当時勤務していた学校は避難所になりました。体育館は寒く、ストーブを準備しお湯を沸かして飲み物も用意しました。ペットと共に避難してきた方もいました。体育館とは別の空き教室を提供しました。高齢者の家族には教室で暖房を使って休んでいただきました。一晩体育館の避難所で過ごすことは大変なことでした。それに比べても、東日本大震災のときはどんなにか大変だったか、どんなにか不安で心細かったのかと考えます。あっては困るがいつ来るとも限りません。心の備えも必要です。

心に残る言葉

朝会で校長が話をする機会があり、本のお話をしました。人生を変えるような本に出会えたことは私にとって幸せなことだと思えます。東井義雄先生の言葉をまとめた「人生の詩(うた)」、簡易装丁の薄い本です。何度も何度も読み返し、ボロボロになって買い換えて今手元にあるのは3冊



目です。山形に帰ることになった頃だったでしょうか、友人から贈られました。その中から「心にスイッチを」という詩を読みました。

一部を紹介します

「前半部略 ～ ちょうど 電灯の光を放つしくみがちゃんと できあがっていてもしくみだけでは 光が出ないとおんなじだ スイッチが 入らないと光が出ないと おんなじだ 人間も同じだ。心のスイッチが入らないと人間のしくみだけでは人間の光を放つことはできないんだぞ。」 (原文表記のまま)

地域を学ぶ、地域の先生に学ぶその3～羽前成田駅へ～

3年生の総合的な学習の時間のテーマはふるさと学習です。地域の先生に学ぶシリーズ第3回の今回は羽前成田駅に向かいました。今回の地域の先生は齋藤理喜夫さんです。「羽前成田駅前おらだの会」代表でもあります。以前、学校に来ていただいたときに、「今年は成田駅開業100年の記念の年で『駅の絵展』や『駅前看板』などにご協力をお願いしたい」とのことでした。そこで



提案したのは、その思いをぜひ子供たちに直接語ってくださいということでした。それが実現しました。しかも学びの場はその駅の中です。羽前成田駅は当時の姿を残した木造の駅で、文化庁の登録有形文化財にも指定されています。その駅舎100年の歴史の中でおそらく初めてであろう出来事もありました。羽前成田駅の歴史などを説明する際に、PCからプロジェクターで画像を大きく映し出して学習会を行っていただ



きました。古い木造の駅舎の中で、最新の技術とのコントラストも趣がありました。暑い日でしたが、建物の中は田んぼからの風が吹き抜けてとてもさわやかでした。一生懸命学ぶ子供の姿に地域を担うたくましさも感じました。齋藤先生ありがとうございました。



あたたかいご支援ありがとうございました。



毎月更生保護女性会の皆さんから朝のあいさつ運動と見守り活動をしていただいています。児童の通学路に合わせて東門と南門に分かれて登校児童一人一人にやさしい表情で「おはよう」の声かけをしていただきました。12日にはそうきを寄贈していただきました。115枚というたくさんの枚数です。15名の会員の皆さんが心をこめて届けてくださったものです。丁寧にお手紙も添えてくださいました。コロナ禍での消毒や清潔な環境を保つための清掃活動で大切に使用させていただきます。ありがとうございました。



訂正とお詫び 学校だより「おおぞら」7月1日号で学校運営協議会委員の皆様を紹介しましたが、地区長会長さんのお名前の漢字が間違っておりました。正しくは飯澤繁夫様です。訂正してお詫び申し上げます。

致芳小学校のホームページ・ブログでも子ども達の様子をお知らせしています。カラーでご覧いただけます。こちらのQRコードからどうぞ。

